

看護学科2022カリキュラムの授業科目、単位数、履修年次、卒業要件

当該カリキュラムは、原則、2022(令和4)年度からの看護学科入学者に適用されるカリキュラムです。

区分	授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		必修・選択の別	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
一般基礎科目	英語ⅠA	1	演習	○								必修	
	英語ⅠB	1	〃	○									
	英語ⅡA・ⅡB	1	〃			○							
	情報リテラシー	1	講義	○									
	統計学	1	〃			○							
	初年次セミナー	1	〃	○									
	看護社会論	1	〃	○									
	生命科学(入門)	1	講義	○								選択	
	生命科学(発展)	1	〃		○								
	看護化学	1	〃	○									
	人間と思想(哲学基礎)	1	〃		○								
	人間と思想(近代社会の理論)	1	〃		○								
	人間と思想(人間学)	1	〃		○								
	人間と文学(古典評論Ⅰ)	1	〃	○									
	人間と文学(古典評論Ⅱ)	1	〃	○									
	人間と文学(文学入門)	1	〃	○									
	人間と文学(批評理論入門)	1	〃		○								
	言葉と文化(言語文化概論)	1	〃		○								
	言葉と文化(現代言語学概論)	1	〃	○									
	社会と文化(教育学)	1	〃	○									
	社会と文化(人間形成史論)	1	〃	○									
	社会と文化(現代文化論)	1	〃		○								
	社会と文化(比較文化論)	1	〃		○								
	社会と文化(世相史)	1	〃		○								
	現代社会論(地域社会論)	1	〃	○									
	現代社会論(社会福祉論)	1	〃	○									
	現代社会論(現代社会の論点)	1	〃		○								
	人間と行動(法学)	1	〃		○								
	人間と行動(経済学)	1	〃		○								
	人間と行動(社会学の考え方)	1	〃	○									
	人間と行動(感情心理学)	1	〃	○									
	人間と行動(青年期の心理と行動)	1	〃		○								
	科学と技術(社会の中の物理Ⅰ)	1	〃	○									
	科学と技術(社会の中の物理Ⅱ)	1	〃		○								
	科学と技術(数学概論)	1	〃		○								
	科学と技術(科学論文の読み方・書き方)	1	〃		○								
	科学と技術(食と健康)	1	〃		○								
	手話入門(基本編)	1	〃	○									
	手話入門(実践編：医療手話)	1	〃		○								
	ドイツ語講読	2	〃	○									
	フランス語講読	2	〃	○									
	ロシア語講読	2	〃	○									
	中国語講読	2	〃	○									
専門基礎科目	形態機能学	4	講義		○							必修	
	生体観察実習	1	実習		○								
	栄養学	1	講義	○									
	生化学	1	〃		○								
	病理学総論	1	〃		○								
	病理学各論	1	〃				○						
	薬理学	1	〃				○						
	臨床薬理学	1	〃					○					
	感染制御学	2	〃			○							
	臨床病態治療学Ⅰ(精神・小児・婦人科系疾患)	2	〃			○							
	臨床病態治療学Ⅱ(内科・外科系疾患)	2	〃				○						
	臨床病態治療学Ⅲ(内科・外科系以外の疾患)	2	〃					○					
	健康教育論	1	〃			○							
	疫学	2	〃						○				
	保健統計	2	〃				○						
	公衆衛生論	1	〃				○						
	保健医療福祉システム論	2	〃					○					
	発達心理学	2	〃	○									
	臨床心理学	2	〃				○						
	看護遺伝学	1	〃				○						
	保健医療福祉行政論	1	〃						○			選択	(助産師課程選択者は必ず選択すること)
													(保健師課程選択者は必ず選択すること)

区 分		授業科目	単位 数	授業 形式	第 1 学年		第 2 学年		第 3 学年		第 4 学年		必修・選択の別	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
看護の 基盤	看護学概論	2	講義		○								必修	
	基礎看護技術学Ⅰ（共通技術）	1	演習	○										
	基礎看護技術学Ⅱ（日常生活援助技術）	2	〃		○									
	基礎看護技術学Ⅲ（診療関連技術）	1	〃			○								
	基礎看護技術学Ⅳ（看護過程）	1	講義			○								
	コミュニケーション論	1	〃	○										
	看護フィジカルアセスメント	1	〃			○								
	人間生涯発達論	1	〃		○									
	看護倫理	1	〃				○							
	看護理論	1	〃			○								
	地域看護学	1	〃		○									
	早期体験実習Ⅰ（コミュニケーション、プロフェッショナリズム）	1	実習	○										
	早期体験実習Ⅱ（北海道の地域医療、看護職）	1	〃			○								
	基礎看護学実習Ⅰ（療養生活の理解）	1	〃	○										
	基礎看護学実習Ⅱ（看護過程と看護実践）	2	〃				○							
	コミュニケーションと看護	地域包括ケア論Ⅰ（地域の理解）	1	講義		○								
		地域包括ケア論Ⅱ（地域の課題把握）	1	〃			○							
		地域包括ケア論Ⅲ（地域の課題解決）	1	〃					○					
		地域包括ケア論Ⅳ（地域課題の継続的な取組）	1	〃								○		
		地域包括ケア実習	1	実習					○					
	専門科目 特性と看護	成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）	2	講義			○							
		成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）	2	〃					○					
		高齢者看護学Ⅰ（老いを生きる人と看護）	1	講義				○						
		高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）	1	〃					○					
		小児看護学	2	〃				○						
母性看護学		2	〃				○							
精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）		1	〃			○								
精神科語学Ⅱ（精神症状と看護の展開）		1	〃				○							
在宅看護学		2	〃					○						
実践看護技術学Ⅰ（成人）		1	演習						○					
実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）		2	〃					○						
実践看護技術学Ⅲ（高齢者・在宅）		1	〃								○			
成人看護学実習Ⅰ（急性期）		3	実習							○				
成人看護学実習Ⅱ（外来）		1	〃							○				
成人看護学実習Ⅲ（慢性期）		2	〃							○				
高齢者看護学実習		3	〃								○			
小児看護学実習		2	〃								○			
母性看護学実習		2	〃							○				
精神看護学実習		2	〃							○				
看護の 発展と探求	がん看護学	2	講義					○						
	チーム医療・リハビリテーション看護論	1	〃					○						
	国際保健・災害看護論	1	〃								○			
	看護研究	1	演習						○					
	卒業研究	2	〃									○		
	在宅看護学実習	2	実習								○			
	総合実習	2	〃									○		
	看護管理・医療安全論	1	講義								○			
	看護教育論	1	講義									○		
	看護英語文献講読	1	〃					○			○			
	がんサバイバーシップ	1	〃								○			
	がんエンドオブライフケア	1	〃								○			
	医療経済・看護経営論	1	〃						○			○		
	家族看護論	1	〃						○			○		
	認知症ケア論	1	〃						○			○		
	クリティカルケア論	1	〃						○			○		
	看護英語	1	演習			○								
	助産学概論	1	講義					○						
	助産活動論Ⅰ（リブ・ロダ* ケア* ヘルス/ライツと女性・家族への支援）	1	〃						○					
公衆衛生看護学概論	2	〃				○								
公衆衛生看護学活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○							
卒業要件		必修科目 106 単位、選択科目 18 単位以上（一般基礎科目から 6 単位以上専門基礎科目及び専門科目から 10 単位以上の計 18 単位以上）、合計 124 単位以上を修得すること。												

（履修条件あり）

（助産師課程選択者は必ず選択すること）

（保健師課程選択者は必ず選択すること）

（助産師課程選択者および保健師課程選択者は必ず選択すること）

【保健師課程】

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
健康教育論	1	講義			○						必修科目として 修得する科目
公衆衛生論	1	〃				○					
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
保健統計	2	〃			○						
地域看護学	1	〃		○							
在宅看護学	2	〃					○				
国際保健・災害看護論	1	〃							○		
疫学	2						○				
小計	12										
公衆衛生看護学概論	2	講義				○					注 1
保健医療福祉行政論	1	〃						○			
公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	2	〃					○				注 2
公衆衛生看護活動論Ⅱ（地域アセスメント）	2	〃						○			
公衆衛生看護活動論Ⅲ（公衆衛生看護管理）	2	〃							○		
公衆衛生看護活動論Ⅳ（政策づくり）	1	〃								○	
公衆衛生看護技術論	2	演習							○		
公衆衛生看護学実習Ⅰ	3	実習								○	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	2	〃								○	
小計	17										
合計	29										

注 1）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる
 注 2）卒業要件とは別に履修する科目。

【助産師課程】

授業科目	単位数	授業形式	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		備考
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
形態機能学	1	講義		○							必修科目として 修得する科目＊
臨床病態治療学Ⅰ（精神・小児・婦人科系疾患）	1	〃			○						
保健医療福祉システム論	2	〃					○				
健康教育論	1	〃			○						
公衆衛生論	1	〃				○					
地域看護学	1	〃		○							
国際保健・災害看護論	1	〃							○		
母性看護学	1	〃			○						
実践看護技術学Ⅱ（精神・母性・小児）	1	演習					○				
小計	10										
看護遺伝学	1	講義				○					注 1
助産学概論	1	〃					○				
助産活動論Ⅰ（リプロダクティブヘルス/ライツと女性・家族への支援）	1	〃						○			注 2
公衆衛生看護活動論Ⅰ（個人・家族・集団）	1	〃					○				
助産活動論Ⅱ（助産学基礎知識）	2	〃						○			
助産診断・技術学Ⅰ（妊娠期）	1	演習							○		
助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	2	演習								○	
助産管理学	1	講義								○	
助産学実習	11	実習								○	
小計	21										
合計	31										

注 1）卒業要件の選択科目（専門科目）単位数に含まれる。
 注 2）卒業要件とは別に履修する科目。
 ＊上記単位数は助産師国家試験受験資格に必要な単位数であり、本学の修得単位数とは異なります。